

議会だより



はちね

小学校6年生 議会傍聴

主な内容

- 12月定例会……………P 2
- 小学校6年生議会傍聴……………P 3
- 決算特別委員会……………P 4・5
- 一般質問……………P 6～10
- 常任委員会報告……………P 11

条例改正

- 箱根町町税条例の一部を改正する条例の制定について…原案可決
- 箱根町立宮城野保育園条例等の一部を改正する条例の制定について…原案可決

補正予算

平成29年度箱根町一般会計補正予算(第3号) 原案可決

補正額 3億6,151万6,000円追加 ⇒ 補正後の総額 97億1,933万2,000円

主要内容

ふるさと納税促進事業…1億5,074万円
財政調整基金積立金…993万6,000円

平成29年度箱根町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 原案可決

補正額 180万円追加 ⇒ 補正後の総額 20億9,280万8,000円
過年度過誤納還付金…180万円

平成29年度箱根町仙石原財産区特別会計補正予算(第1号) 原案可決

補正額 26万7,000円追加 ⇒ 補正後の総額 116万7,000円
土地売払収入…25万9,000円

指定管理者の指定

- 箱根町八丁駐車場指定管理者の指定について…原案可決
八丁駐車場の指定管理者について、元箱根観光協会が指定されました。
期間は平成30年4月1日から平成33年3月31日までです。

決議

- 行財政改革調査特別委員会設置に関する決議について…原案可決
町の厳しい財源不足を補うため、将来に亘った持続可能な行財政基盤の確立を図る具体的な方策について、全議員で調査研究を行います。
- 議会改革等推進特別委員会設置に関する決議について…原案可決
引き続き、町民に開かれ信頼される議会を目指すため設置され、委員長に村野議員、副委員長に折橋議員が選出されました。構成員はP12で紹介しています。

議会議事案件

条例改正

- 箱根町文化財保護条例の一部を改正する条例の制定について…原案可決
教育福祉環境常任委員会に閉会中の審査として付託されていたもので、委員長報告のとおり、原案可決されました。

決算認定

特集はP4, 5に掲載しています。

- 平成28年度箱根町一般会計および10特別会計の決算認定について…認定
決算特別委員会に閉会中の審査として付託されていたもので、委員長報告のとおり、認定されました。

議員別議案賛否一覧 (賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	勝俣公好	勝俣泰彦	川口延明	勝俣剛一	小川鶴雄	村野由紀子	川端祥介	山田成宣	稲葉親太郎	遠藤秀則	石川栄	折橋尚道	沖津弘幸
67	平成28年度箱根町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	平成28年度箱根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	平成28年度箱根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	平成29年度箱根町仙石原財産区特別会計補正予算(第1号)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※：議長は採決に参加しません

12月
定例会

会期

12月5日から
15日まで

条例改正

2件

平成29年度
各会計補正予算

3件

指定管理者の指定

1件

決議

2件

議会議事案件
(付託案件)

12件

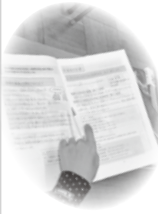
〈内訳〉

条例改正 1件
平成28年度
決算認定 11件

特集! 12月12日 町内3小学校の6年生が議会傍聴にやってきました!!



傍聴前にしっかり勉強



これから傍聴です。みんな緊張した面持ちで、その時を待っています。



教育長からのお話の後、4階に向かいます



お辞儀をして議場に入ります



初めての議会傍聴体験中

傍聴に来てくれた6年生の感想

クラスで会議を開いたり討論会を行ったりする時も、この議会のようにしっかり人の話を聞いたり、意見をはっきり言えるようにしたいです。

町民のために、箱根のために、議論してくれている人に感謝したい。すごく貴重な体験だった。

箱根町の代表としてそれぞれの意見を言い合い箱根町をよりよくしたいとがんばっていました。早く大人になって選挙に参加して箱根町がもっともっと良くなればいいと思います。



真剣に聞きメモを取っています。



なかなか見られない正副議長室 学校の校長室に似てるかな?



役場本庁舎も見学です

27年度より社会科授業の一環として、将来町の発展に貢献しようとする住民としての意識を育てる等を目的に、議会からの提案により始まった傍聴も3回目となりました。

私たち議員が町長に町政全般に関しての一般質問を行うタイミングで傍聴に来てくれました。少し緊張気味の真剣な、熱い子どもたちの視線を背中に感じながら、より一層、質問にも力が入りました。

町民の暮らしを豊かにし、生活を便利にする提案などを実現するまで、町民のみなさまに選んで頂いた町議会が大きな役割を果たして行けるよう、議会がどんな働きをしているのか、子どもでも大人でも伝わるようこれからも取り組んでまいります。

議会改革等推進特別委員会 委員長 村野由紀子

審査区分・質疑時間

審査区分	会計名称	質疑時間 (1人あたり)
第1区分	一般会計(歳入)全般	20分
第2区分	一般会計(歳出)	各区分 30分
第3区分		
第4区分	国民健康保険特別会計 後期高齢者医療特別会計 介護保険特別会計	各区分 20分
第5区分	4 財産区特別会計(温泉、宮城野、 仙石原、蛸川) 温泉特別会計 育英奨学金特別会計 下水道事業特別会計	
第6区分	総括(各区分に共通する事項、自らの質疑済み事項で、関連のあるもののみ)	

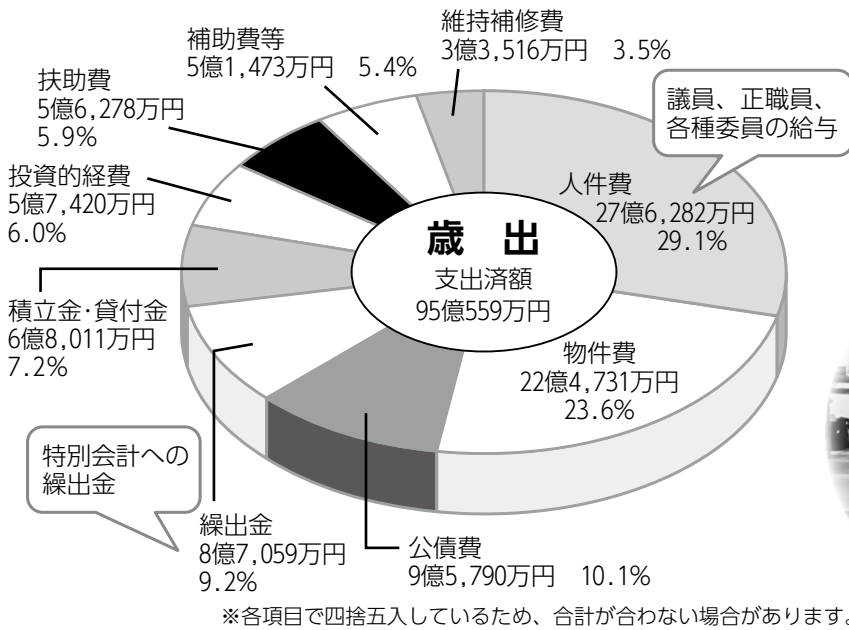
決算審査のチェックポイント

～歳出編～

支出の適法適正の動向
不要額の妥当性
予算流用の適正状況
予備費の充当の適正度
補助金の効果
その他留意事項について
主な施策の成果の活用
財産に関する調書明細書の活用
基金の運用状況の審査
財産運用の適否の判断
仕事の出来高と出来具合の審査

～歳入編～

町税等の収入の状況確認
補助金の確保の動向
町債等の動向
その他の収入動向



決算特別委員会の様子

【第2区分】

- 防災対策費
 - └大涌谷火山対策事業について
- 住みたいまち箱根推進事業について
- ふるさと納税促進事業について

【第3区分】

- 都市計画マスタープラン策定事業について
- 道路維持費
 - └町道全般について
- 生涯学習フェスティバル開催事業について

【第5区分】

- 下水道事業特別会計
 - └下水道事業並びに歳入全般について
- 育英奨学金特別会計
 - └貸付の取立てについて

【第6区分】

- アクションプランと財源について
- 職員の時間外手当と業務量等について

決算認定までの流れ

決算とは予算執行の結果、どのような成果があったかを示す成果報告で、会計年度が終わってから、時間をかけて慎重に審査を行います。

平成29年 3月31日
会計年度終了

平成29年 5月31日
出納整理期間終了

- ・会計管理者が町長に決算を提出
- ・監査委員が決算審査し、町長に意見書を提出

※監査は小嶋税理士、折橋議員が厳正に行いました。

平成29年
10月臨時会

町長が監査委員の意見書を添えて議会に上程

決算特別委員会での審査(質疑)

開催日 10月17日
11月2、7、8日
審議時間 午前10時～午後5時

平成29年
12月定例会

- ・討論を経て各会計ごとに採決
- ・全員賛成または賛成多数で認定

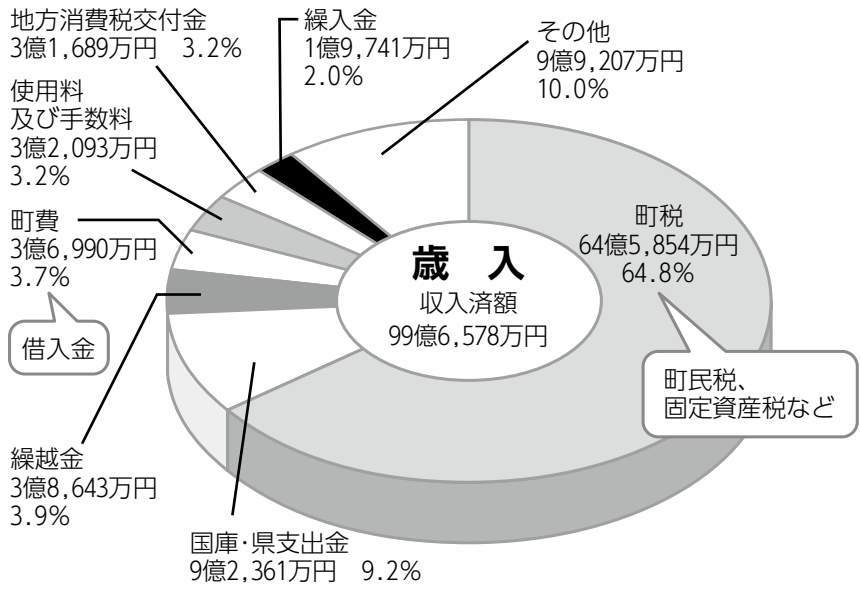
※2ページ、議員別議案賛否をご覧ください。

決算特別委員会

決定した決算が適正に執行されたか審査し、その行政効果や経済効果を評価したり、今後の行財政運営の改善に役立てる大切な意義があります。

決算特別委員会の構成は、沖津議長、石川副議長、小川監査委員、折橋前監査委員を除く10名です。

今年度は委員長を村野議員、副委員長を川口議員が務めました。



平成28年度一般会計以外の決算

会計名称	歳入	歳出
国民健康保険	19億1,705万円	18億567万円
後期高齢者医療	3億2,366万円	3億1,444万円
介護保険	12億967万円	11億9,178万円
4 財産区	1,460万円	1,299万円
温泉	1億4,445万円	1億2,438万円
育英奨学金	2,813万円	1,341万円
下水道事業	16億7,380万円	16億1,943万円
企業会計(水道事業)	4億3,653万円	3億8,861万円



決算特別委員会の様子

決算審査の主な内容

【第1区分】

- 固定資産税
↳ 今後の見通しについて
- 入湯税
↳ 今後の見通しについて
- ゴルフ場利用税交付金
↳ 今後の継続について

【第4区分】

- 国民健康保険特別会計
↳ 滞納等について
- 介護保険特別会計
↳ 給付費の内容について

12月定例会では、町政全般へ9人の議員が17項目にわたる一般質問を行いました。なお、質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものとなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問項目	ページ
石川 栄	・人口減少への政策対応について ・すすき草原周辺の整備について	6
山田 成宣	・今後の消防計画について	7
折橋 尚道	・30年度予算編成について ・土地価格の減少傾向による固定資産税収入の影響について ・財源確保のための受益者負担の適正な使用料・手数料の考え方について	
勝俣 公好	・北朝鮮によるミサイル発射情報での町の対応について ・箱根町高校保護者会連絡協議会から町内バス（仙石原）ダイヤの改善要望について	8
山田 和江	・国保の県単位化と国保料について ・教職員の働き方について	9
勝俣 剛一	・移動期日前投票所開設について ・学習支援事業「箱根土曜塾」について	
川端 祥介	・国際社会のあたらしいものさし、持続可能な開発目標(SDGs)に対する町の取り組みについて ・生活困きゆう者自立支援の状況等と民生委員の活動と成果について	10
稲葉親太郎	・廃棄物の不適正処理について ・駅などの交通拠点の機能拡充について	
村野由紀子	・子育て支援と定住化の推進について	

※ **Q**は議員の質問、**A**は町側の回答です。

一 般 質 問

町の考え方を問う！



人口減少への施策対応について

町 — 試行錯誤で努力しているが、人口減の歯止めは難しい

民間賃貸家賃補助	3件	15万円
住宅取得補助	1件	80万円
出産祝い金支給		
第2子	17件	170万円
第3子	8件	160万円
第4子	1件	20万円
計	26件	350万円

A

28年度の民間賃貸住宅家賃補助制度、住宅取得補助、出産祝い金の支給、それぞれの実績は。

Q

内容改善を図りながら継続的に取り組んでいく。

A

当町の人口は2026年に1万人に減少すると推計している。若者世帯の転入や転出抑制を図る施策として「住宅取得助成」、「民間賃貸住宅家賃補助」、「出産祝い金支給」を推進しているが、人口減少が進んでいるのが現状。

Q

第6次総合計画「若者定住」の促進状況はどうか。

A

支給した方の調査は、個人情報や、家庭状況を考えて定めていない。

Q

定住町民への祝い金支給は理解できるが、町外転出もあるため、多額な祝い金の支給については貴重な税金のバラマキ事業とも感じる。

A

町民より様々な意見があることは承知しているが、急激な人口減少抑制の取り組みとして、支援施策を上手に組み合わせ、目標数値に近づきたい。



石川 栄 議員

救急車を減らさないで！！

町 — 現行の消防力を低下させない



山田 成宣 議員

Q 町内の消防本部、湯本分署、仙石原・箱根分遣所の体制は町民の安心・安全の要となっている。くれぐれも現在の体制の維持を望む。

A 町内5地域に集落が分散されているため大規模災害時において各地域が孤立することが想定される。安心・安全なまちづくりの推進を図るためにも、現行の消防力が低下するようないことは、あつてはならない。救急車においても同様で、財源確保にも配慮しつつ、現行体制の維持に努める。

Q 消防団装備等の充実に関しては、現場から要望を踏まえての対応を求める。

A 消防団に対して希望調査を実施し、各団から要望事項を取りまとめ、消防団幹部と協議した上で優先順位を定め、今後の装備充実を図っていく。



消防団車両



出初式

Q 次期予定されている消防団の操法大会に出場する分団には、準備段階からの援助体制を計って戴きたい。

A 操法大会に向けて、団員の方も忙しいなか訓練をしており、箱根町の代表として大会に出場します。町消防といたしましては前向きに検討して協力していく。

平成30年度予算編成と起債について

町 — 厳しい予算編成、起債は増加傾向



折橋 尚道 議員

Q 中期財政見通しでは、30年度においても1億円程度の財源不足を示している。現在ではインフラ修繕にも起債を利用する状況であり、今後の町政を運営するうえで起債に対する考えを伺う。

A 100億円以上あった起債残高は、28年度末で63億円弱になった。まちづくりを実行していくために、公債費比率などの指標に注意し、償還とのバランスを考慮し、必要に応じて適切に起債を利用していく。

Q 生涯学習施設の料金改定や事業系一般廃棄物収集体制の見直し、ごみ持ち込み料金の改定を行った。今後、も使用料・手数料の見直しや、新たな受益者負担を検討しているのか。

A 28年度に町営温泉入浴料・総合体育館利用料金の見直し、29年度から公民館・郷土資料館・弓道場の使用料、ごみ処理手数料の改正

を行った。5年毎に使用料等の見直しを定めているので、対象施設は33年度に見直しを検討する。ごみ処理手数料・下水道使用料についても定期的な見直しを行う中で効率的な施設の管理運営や事務の効率化、コスト削減の努力を続けながら、適正化を図ってきたい。

Q 起債残高を63億円まで減らしてきたが、第6次総合計画を遂行するにあたり、起債残高はどのように推移するのか。

A 起債は反転し、増える傾向と予想される。

COST

高校保護者会から仙石原バスダイヤの改善要望について

町 — 交通事業者として、少しでも利便性が向上するよう検討していく



勝俣 公好 議員

Q 高等学校の学区が撤廃され、自由に志望校を選択できるようになったが、宮城野、仙石原地域では、現在のバスダイヤの影響で、自由な進路選択に繋がっていない。そこで、ダイヤ改正等4点について要望した。

① 始発について、土日も平日同様にしてもらいたい
② 仙石原からの始発便及び仙石原への最終便の増発をしてもらいたい
③ 朝晩の桃源台発着の増発を検討してもらいたい
④ 箱根線は、小田原発の最終便を現在より遅い時間に設定してもらいたい。

A 箱根登山バス側から、バス増発等については、事業経営上の理由で難しいが、趣旨は理解したので、検討していくと回答があった。

3点目については、仙石原高原まで延長できないか関連機関と調整した結果、試験運転が必要とのことで、今後も、

高校生や保護者の利便性向上に努力したいと聞いている。

Q 北朝鮮によるミサイル発射情報での町の対応について。

A 万一、北朝鮮からのミサイルが発射された場合は、全国瞬時警報システム（Jアラート）が作動し、町の防災行政無線が自動的に放送される仕組みになっており、緊急速報メールも自動的に配信される。

Q 万一、Jアラートが作動した場合の行動は。
A Jアラートの訓練に関する情報や行動を、町ホームページだけでなく、回覧でも周知したい。



保険料の高騰が予想されるがどうする

町 — 劇的に高騰するならば何らかの措置を考える



山田 和江 議員

Q 来年度から県が市町村と共に保険者となり、財政運営の主体となる国保の県単位化、いわゆる広域化が始まる。国保はこれまでも保険料が高く加入者にとって重い負担となっている。新しい制度においても1番の関心は保険料がどうなるのが問題だ。そこで、県に納める納付金と納付金を支払うために必要な標準保険料率の算定について伺う。

A 納付金は県全体で集めるべき納付金額となるよう、調整係数を通じて公平、適切な算定をしている。標準保険料率の算定は、法定外繰入金を算入しないため、法定外繰入金を多く入れている市町村は現行の保険料率より高い標準保険料率が示される。したがって、その標準保険料率を参考として市町村は保険料を決定するが、標準保険料率どおり賦課しなくても良い。町としては被保険者の負担を

十分に考慮した上で保険料額を決定したい。現在、予算編成作業を行っているので、具体的に申し上げることは出来ない。

Q 各都道府県の公表試算では一般会計からの繰り入れを反映していないため大幅な値上げになるという結果だ。国は法定外繰入の他、市町村にも激変を生じさせない配慮を求めている。箱根町も保険料の高騰が予想されるのか伺う。

A 現在の保険料に比べて劇的に高騰するようなことがあれば何らかの措置を考える。



箱根土曜塾の今後について

町 — 来年度以降、さらに充実させ継続



勝俣 剛一 議員

Q 本年10月、新規学習支援事業「箱根土曜塾」を開講、受験生や保護者に大変喜ばれ町外へ通う交通手段や塾費用等、家計にかかる負担も軽減され、長く継続すべき事業と考えるが、今後の進め方、問題点等、町側の考えを伺う。

A 多くの保護者からの要望もあり、どの様な形で公営塾を開設できるか研究を重ね、試行的に開設したもので、より多くの子ども達に塾へ通ってもらうため、教材費用の負担を減らし、交通手段については、社会教育センターで開講することで中学生が所持している通学定期券が活用でき、通塾にも負担のないようにした。

Q 塾の運営について伺う

A 「箱根土曜塾」の運営は城南予備校の運営会社である「株式会社 城南進学研究所」に委託、毎回講師5

名が派遣され、1グループ5名の生徒を1人の講師が担当しており、午前9時より午後3時まで開講している。

Q 大変有意義な事業であり保護者等の意見も聞くべきと思うが。

A 土曜塾の講義とは別に、保護者会を開催し、入試の仕組みや、子ども達への支援等、対応も指導している。

Q 今後の進め方について伺う。

A 来年度以降もさらに充実したものとし、引き続き土曜塾を開講していき、1人でも多くの生徒が志望校へ入学できるよう取り組む。



国連が提唱するSDGsに関して町の対応と周知・広報を

町 — 健康推進・環境先進観光等実施しており、今後も広報・周知していきたい



川端 祥介 議員

Q 2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」が開催され、疾病・飢餓・貧困等の防止目標いわゆるSDGs（エスディージーズ）が採択された。

今後、自治体・地域・企業なども積極的に活動していくことが求められる。

箱根町ではどのように対応をされているのか、またSDGsに関して、住民への広報や周知をしていくべきと思うが、町の考えを伺う。

A SDGsについては、現在では、地球規模で人やモノ、資本が移動するグローバルな経済下にあつては、気候変動・自然災害・感染症といった地球規模で連鎖して発生し、経済成長や社会問題として影響を及ぼす。

国際観光地として、国連の提唱する17の目標に対し

て箱根町としても健康・未病の関連行事を行っている。

その他に、その他環境先進観光としての取り組みを図り、事業の中で国連が提唱する目標を理解し推進していきたいと思う。町としては情報収集し、実態とよく照らし合わせて、取り組みについて調査・研究していく。

SDGsはまだ十分に理解されていないので、今後国連の目標等提唱について住民の皆さんにも周知・広報を行うよう考えていく。



駅などの交通拠点機能拡充について

町 — 地区住民の主体的なまちづくりである「エリア・マネジメント」等の実施へ繋げ、地域の魅力や価値の向上に努める



稲葉親太郎 議員

Q 都市計画マスタープランにおける「交通施設整備等の考え方」を伺う。

A 本町は、首都圏から最も近い国立公園で、豊かな自然環境や歴史・文化などの地域資源に恵まれている。これらを生かし、今日まで国際観光地として多くの観光客の方々を迎え入れながら発展を重ねてきた。そのような中、町内においては、多様な交通が集中し、さらには広域的な交通需要などの増大が見込まれている。都市間の連携強化と、人や物の活発な移動と交流を支える国道1号に沿った東海道軸、国道138号に沿った御殿場軸、県道75号に沿った箱根湯河原リゾート軸という本町の主要軸を充実させ、生活拠点の機能強化や、回遊性のある交流ネットワーク形成を図ることを基本的な考え方としている。

Q 具体的な取り組みについて伺う。

A 強羅駅は登山電車とケーブルカーの乗り換え場所として、昨年、交通事業者から周辺地域の活性化と交通結節点機能の増強を目的とした駅前広場周辺及び駅内部の再整備について相談を受け、事業者と実現に向けた協議を進めている。

仙石原交差点に隣接する仙石原保育園跡地では、周辺地域の活性化や交通利便性の向上を目的としたバスターミナル整備の提案を受けている。



3世代同居、近居制度の構築を

町 — 定住化促進を図る上で有効、調査研究検討する



村野由紀子 議員

Q 3歳未満児の保育におけるニーズが増加し、0〜2歳児については4月の時点で、定員に余裕があるが、月が進むにつれて埋まっていく。

仙石原幼児学園園舎の空部屋を工夫することで、幼い子どもを預かれないか。

A 保育室の利用の仕方を変更することで預かることも可能だが、現在の保育教諭の人数はギリギリの状況のため、今後検討する。

Q 孫育て手帳を発行し、パパとママをサポートする、3世代で過ごすメリットの取り組みの検討はどうか。

A 日光浴のさせ方や、オムツ外し、抱き癖等、子育ての仕方が見直されているため、今後検討する。

Q 昨年度からスタートした空き家リフォーム補助制度、子育て世帯や、3世代同居世帯など、空き家バンクを経由した物件以外でも、補

助対象に加えてはどうか。

A 今年度の空き家対策の状況も踏まえ検討する。

Q 持続可能なまちであるために、箱根で生まれ育ち、転出していった子供たちが、箱根に帰ってきやすい環境や条件を整える一つの手法として、3世代同居、近居の制度構築は、人口減対策の有効な手段の一つとならないか。

A 本町出身者へのUターンを促す取り組みは、定住化促進を図る上で有効。3世代同居、近居の支援は調査研究検討する。



総務企画観光常任委員会 報告

12月13日、箱根版DMOについて調査研究をするため、一般財団法人箱根町観光協会から勝俣伸理事長らの出席のもと、箱根町の観光行政における状況や、DMO導入の目的から役割、観光地経営の取り組みを細部にわたり説明いただきました。

箱根版DMOの最終目標は、箱根各地域の経済拡大であり、そのための手段として、民間大手旅行会社等を取り入れ、今まで以上に、積極的に協会自体を運営していく等の意気込みを感じ取りました。

委員会としても、箱根版DMOの導入については、しっかりと今後も注視していきたいと考えています。

委員長 山田 成宣



「箱根版DMO」設立趣旨説明資料



総務企画観光常任委員会の様子

教育福祉環境常任委員会 報告

11月20日、付託審査となっていた箱根町文化財保護条例の一部改正について、教育委員会より教育長等の出席のもと、町内の建物等における説明を受けました。現状の文化財保護において、緊急かつ必要性が求められることから、慎重な審査の結果、賛成としたものです。今後の町内における建築物等文化財の保護について見守っていきたいと思います。

また、今後は、中学校の長寿命化改良工事や介護保険施設等への視察、生活環境等の面で問題を引き起こしている空き家対策、有害鳥獣対策等に係る調査・研究等、積極的な活動をしていきたいと考えています。

委員長 遠藤 秀則



箱根中学校



教育福祉環境常任委員会の様子

我が家の自慢

ミックス犬の
ちっぷ君



仙石原地区 勝俣さん

**我が家の二代目保護犬
ちっぷ君3歳です。
家へきてまだ一カ月。
早くも家族のムードメーカーです。**

次号以降に掲載するペットを
募集しています。

50文字以内の紹介文、飼い主の名前、可愛がっているペットの名前と住所、電話番号を明記の上、写真を郵送または下記にEメールにて議会事務局まで提出ください。(名前と地区を掲載) web_gikai@town.hakone.kanagawa.jp
なお、写真によっては掲載不可能な場合もありますので、ご了承ください。

最近の議会活動報告

1/5

自治功労者表彰式



私達現職議員が見守る中、前議員の西村和夫さん（箱根）が自治功労者表彰を受けられました。おめでとうございます。

1/10

出初式



永年にわたり町の安全確保に尽力された消防団員の表彰等が行われ、我々議員も見届けました。

1/10

行財政改革調査特別委員会



行財政改革調査特別委員会を開催しました。今後の町の将来について、少なくとも月1度のペースで話し合いを全議員で行っていきます。

1/25

広報広聴委員会



読みやすい誌面づくりに努めます。これからもよろしくお願いいたします。

～ 3月定例会開催日（予定）～

2月21日(水)、3月1日(木)、6日(火)、8日(木)、12日(月)、13日(火)、16日(金)

※ 3月定例会会議開催日は議会運営委員会の結果により変更となる場合がありますので、議会事務局（☎85-9570）までお問い合わせください。

会議途中からの傍聴も可能ですので、是非お越しください。

広報広聴委員会

委員長 稲葉親太郎

副委員長 川口延明

委員 勝俣剛一・折橋尚道・勝俣好好・村野由紀子